

①基本事項

計画コード		22070	事業名		観光協会運営支援事業					
事業手法		☐ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☒ 補助等 ☐ その他()								
施策体系	施策の大綱	03:交通拠点性を生かした都市活力の向上				予算科目目	会計	01:一般会計		
	基本施策	04:まちづくり観光の活性化					款	07:商工費		
	施策の方向	03:まちづくり観光を支える人材と組織の育成・確保					項	01:商工費		
	重点プロジェクト	-					目	03:観光費		
事業期間		H 21 年度 ~ R - 年度	主な根拠法令等		亀山市観光協会補助金交付基準					

②事業概要（P）

事業の必要性(経緯・背景等)		事業の対象(誰に、何に対して)		事業の目的(どのような状態にしたいのか)		事業の内容(どのような取組を行うのか)	
観光協会を主体とした関係団体が協働して観光振興を図り、観光地として選ばれるまちとなるため、まちづくり観光のコーディネート機能を果たす観光協会への継続した運営補助と機能強化が必要である。		一般社団法人亀山市観光協会		亀山市観光協会の円滑な運営支援と組織力の強化を図ることで、観光地としての知名度向上と来訪者の増加を図る。		亀山市観光協会へ財政的支援を行い、既存事業の継続とブラッシュアップを図り、更なる誘客を図る。また、観光協会の持つネットワークを生かした広域的な連携や様々な媒体を生かした情報発信を行う。	

③事業の実施状況（P・D）

年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事業計画		○亀山市観光協会への補助金交付		○亀山市観光協会への補助金交付		○亀山市観光協会への補助金交付		○亀山市観光協会への補助金交付	
活動実績 (計画通り実施できたか)		亀山市観光協会への補助金交付や運営支援を行うことで、観光案内、観光情報の発信及びフィルムコミッションの運営の他、城郭巡りスタンプラリー、東海道ひなまつり等の事業の実施に繋がった。		亀山市観光協会への補助金交付や運営支援を行うことで、観光案内、観光情報の発信及びフィルムコミッションの運営のほか、城郭めぐりスタンプラリー、東海道ひなまつり等の事業の実施につながった。					
計画額	事業費	17,700千円		17,700千円		21,200千円		21,200千円	
		国・県支出金		0千円					
		地方債		0千円					
		その他		0千円		3,500千円		3,500千円	
		一般財源		17,700千円		17,700千円		17,700千円	
決算額	事業費	16,304千円		16,832千円					
		国・県支出金		0千円					
		地方債		0千円					
		その他		0千円					
		一般財源		16,304千円		16,832千円			
①期間内計画額(R4~7)		77,800千円		②期間外計画額(R8-)		0千円		①+②総計画額	
								77,800千円	

(令和5年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	17,700千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	観光協会ホームページ訪問者数	観光情報が効果的に発信されることは、本市への観光誘客につながるため。	成果	人	計画値 実績値	190,000 224,617	205,000 248,438	220,000	235,000
	フィルムロケ地誘致回数	フィルムロケ、メモリアルフォトサポート回数の累計	成果	回	計画値 実績値	5 47	10 67	15	20
					計画値 実績値				

⑤ 成果 (C)	事業実施により得られた成果(誰に(何に)対してどのような効果があったか)	
	A	観光協会ホームページへの訪問者数は248,438人と令和4年度から増加したことから、効果的な市の観光PRができた。また、フィルムコミッションの運営や東海道ひなまつりの開催などにより、市内観光地の活性化を図るとともに、他市の観光協会と連携して7つの城郭を巡るスタンプラリーを行うなど、観光協会の経営強化にも結び付いた。
十分な成果を得た		

事業の対象	事業の目的
一般社団法人亀山市観光協会	亀山市観光協会の円滑な運営支援と組織力の強化を図ることで、観光地としての知名度向上と来訪者の増加を図る。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の達成状況等を踏まえた課題事項	
	組織の高齢化及び専門的な知識を有する人材の確保が課題であり、引き続き、観光協会の円滑な運営と組織力の強化に支援が必要である。また、誘客、周遊に向け、文化財をはじめとする観光資源を活用した、にぎわいづくりを図る取り組みにも支援が必要である。	

⑦ 事業 の 展 開 (A)	方向性	
	継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容	
	令和6年度で対応する(した)もの 観光コンテンツの高付加価値化を図り、観光協会の運営基盤の強化につなげる。	令和7年度以降で対応するもの 市内観光の活性化を図り、観光協会の運営基盤の強化につなげる。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
成果判定	A	A		
事業展開	継続(現状維持)	継続(現状維持)		

【履歴】

1次評価者	産業環境部 商工観光課 観光・地域ブランドGL 水野 英樹
最終評価者	産業環境部 商工観光課長 井上 和哉